

2015

平和と健康のための基本方針

Basic Design for Peace and Health

Principes de base pour la santé et la paix

平和と健康のための基本方針

1

公衆衛生危機・災害等の
外的要因に対しても強靱な
健康安全保障体制の構築

●危機に対応できるグローバル・ヘルス・ガバナンスの構築と各国の保健システム強化を目指す

WHO、世銀、国連等との連携・協力強化
および二国間・専門施設間協力を通じた国際
保健規則（IHR）履行支援

●総合的な感染症対策への貢献

グローバルファンド、Gavi ワクチンアライ
アンス、GHIT*等への協力強化および医療機
材供与や人材育成などの二国間協力による感
染症対策



※ GHIT: Global Health Innovation Technology Fund

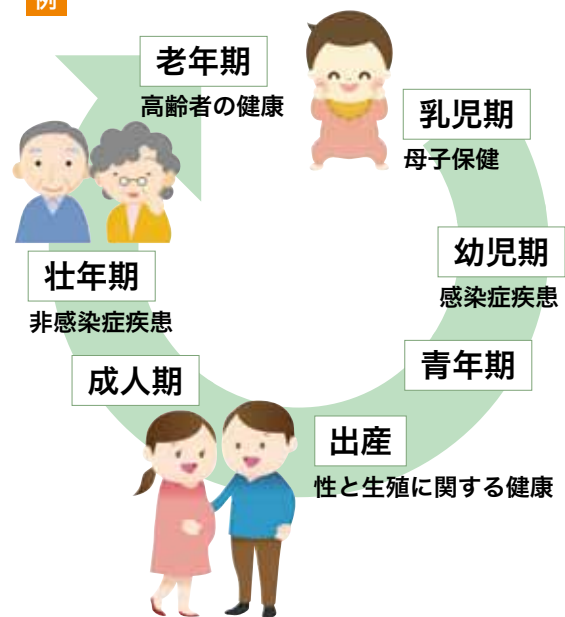
2

生涯を通じた基礎的保健医療の
切れ目のない利用を確立し、
UHC*の達成

●生涯を通じた UHC の実現を目指す

保健システム強化により栄養改善、母子保
健、性と生殖の健康、感染症、非感染性疾患
(NCDs)、高齢者の医療介護等の各保健課題
に取り組む

例



※ UHC: 全ての人が基礎的保健サービスを必要な
時に負担可能な費用で享受できること

3

日本の保健人材、知見、医薬品、医療機器及び
医療技術並びに医療サービスの活用



UHC 達成に向けた日本の貢献 (ケニアの例)



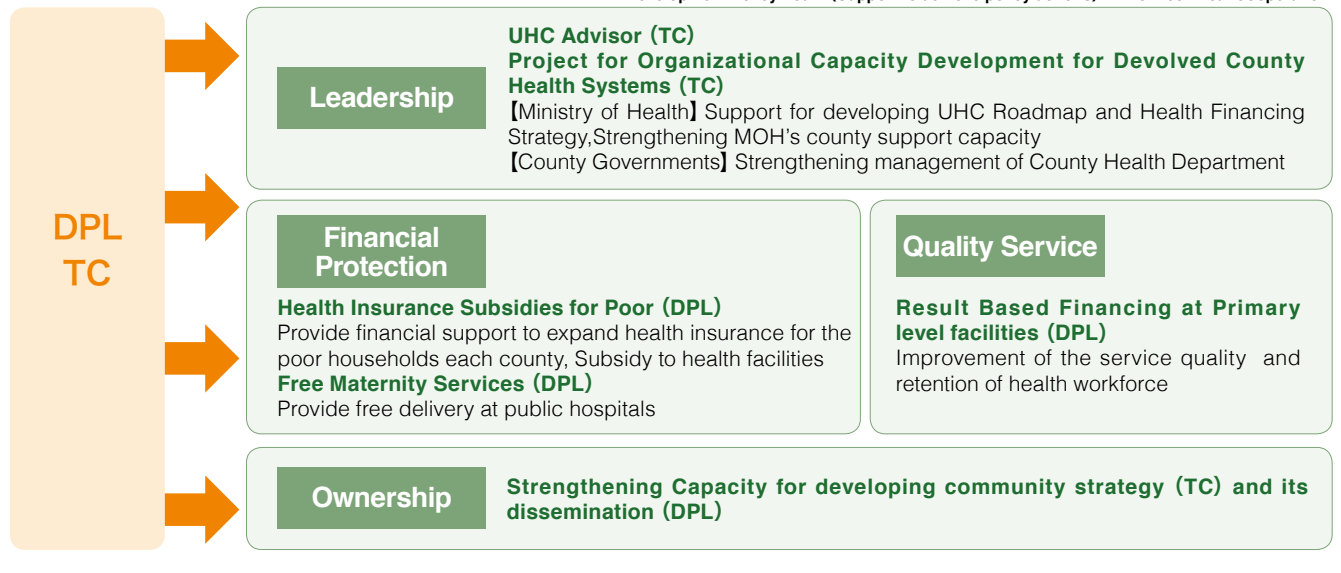
DPL : 開発政策借款 (政策アクションの達成を支援) TC: 技術協力



How can Japan contribute towards UHC? (Example in Kenya)



DPL: Development Policy Loan (Support to achieve policy actions) TC: Technical Cooperation



Contribution du Japon en vue d'atteindre la CSU (exemple du Kenya)



PPD : prêt de politique de développement (appui à l'accomplissement des actions politiques) CT : coopération technique





「平和と健康のための基本方針」

編集・発行 〒100-8919 東京都千代田区霞が関2丁目2番1号
照会先 外務省国際協力局国際保健政策室 電話 03-3580-3311 (代)
写真提供：(表紙) 久野武志／JICA、(裏表紙) アベラルド アリスベ／JICA